

中央社保協ニュース



いかそう！
憲法 25 条

中央社会保障推進協議会 2024年8月2日 23-40号

110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 医労連会館 5階

電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345

メール k25@shahokyo.jp HP <https://shahokyo.jp/>

部内資料

7/30 新介護署名キックオフ集会、450名以上の参加で大成功 出足早い介護改善運動に踏み出そう

介護請願署名キックオフ集会

介護請願署名2024スタート

介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める請願署名
—介護する人、受ける人がともに大切にされる介護保険制度へ—

- 1 社会保障費を大幅に増やし、必要なときに必要な介護が保障されるよう、介護保険制度の抜本的な見直しを行うこと。介護保険財政に対する国庫負担の割合を大幅に引き上げること…【制度改善】
- 2 訪問介護の基本報酬を撤回し、介護報酬全体の大幅な底上げを図る再改定を至急行うこと。その際はサービスの利用に支障が生じないよう、利用料負担の軽減などの対策を講じること…【介護報酬】
- 3 利用料2割負担の対象者の拡大、ケアプランの有料化、要介護1、2の保険給付はずし(総合事業への移行)など、介護保険の利用に重大な困難をもたらす新たな制度見直しを検討しないこと…【改悪阻止】
- 4 全額国庫負担により、すべての介護従事者の給与を全産業平均まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと…【処遇改善】

高すぎる大阪の介護保険料の実態とたたかい

2024.7.30 大阪社会保障推進協議会 事務局長 寺内順子

訪問介護・基本報酬引き下げ撤回を求める取り組み

長野県社保協 事務局長 藤本 ようこ

STOP! 介護崩壊

介護保険制度抜本改善 行動提起

介護保険制度大改悪ふたたび、全国で改悪ストップのたたかいを

7月30日、新介護署名キックオフ集会を開催し、会場・ZOOM・YouTube あわせて450名以上の参加で大成功。出足早い介護改善大運動のスタートを切りました。

保団連の曾根さんの司会のもと、全日本民医連の林さんが「介護保険制度をめぐる情勢と、新たな介護請願署名のポイント」について報告。大阪社保協の寺内さんが「高すぎる大阪の介護保険料の実態とたたかい」、長野県社保協の藤本さんが「訪問介護の基本報酬引き下げ撤回のたたかい」について報告しました。ストップ介護崩壊・介護保険制度の抜本改善に向け、日本医労連の寺田さんが熱い行動提起を行い、年金者組合の廣岡さんが閉会挨拶を行いました。

岸田政権は、私たちが運動で押し返した「介護利用料2割負担の対象拡大」、「ケアプランの有料化」、「要介護1・2の生活援助など保険外し」などの大改悪を再び2025年から議論の俎上におき、2026年の通常国会に改悪法案を出そうとしています。「介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度」にしていくために全国各地で「ミサイルよりケア」を合言葉に、介護保険制度の大改悪ストップ、介護制度抜本改善に向けて出足早いスタートを切りましょう。

キックオフ集会の動画と報告資料は、中央社保協のホームページにアップしています。

動画の視聴をどんどん広げましょう！ (<https://shahokyo.jp/20240704-2/>)